**永山まちづくり実行委員会の開催結果抜粋**

**資料１**

開催日時　平成２９年７月６日（木）１８：００～１９：５０

参　集　　９実行委員会（委員数１８）　欠席３名

主要結果

|  |  |
| --- | --- |
| 実行委員会名 | 経過報告・今後の予定 |
| 永山ＳＯＳネットワーク推進委員会  （会長　山田幸作） | ・５月２２日に実行委員会（打合せ）を実施。本年度は，南，南西地区の他に，第二，第三からの委員も加えた実行委員会体制となっている。  ・「ヒトココ」機械力による効率的捜索について検証中。習熟訓練を実施している。子機の所持，購入費用の２点が課題である。  ・他手法の情報収集も行っていく。ＧＰＳはもともと軍事利用目的であったが，衛生数の増により精度が高まる。ＡＬＳＯＫが開発した機器もある。 |
| 冬みち守り隊  （隊長　葛西輝昭） | ・第３市民委員会の取組として７年，まち協事業として４年目となる。  ・活動の柱は，「地域説明会」「地域パトロール」「地域自主除排雪」。  ・本年度は，南，第二も加えた４地区構成のる実行委員会を組織し，本事業の拡充を継続する。  ・具体的活動は９月以降を予定。  ・地域苦情の中で多いのは，置いて行かれた雪についてのもの。オペレータが見過ごさないようにＨ２８年度は２．２ｍのポール（目印）を立てた。効果があった。  ・Ｈ２９年度は住民アンケートを実施し，事業計画に反映する。 |
| 永山南きづな推進委員会  （会長　桑畠保夫） | ・多世代が自由に参加できる場所提供。周知は町内回覧の他，開催日にはのぼりの掲示を実施している。  ・今後の課題としては，開催場所の確保がある。  ・認知症の方の個別相談，車椅子の方の戸外活動などの取組も進めて行きたい。 |
| 永山地域文化振興実行委員会  （会長　信木晴雄） | ・永山地域の歴史保存（聞き取り調査）については，調査体制を組んで７月から開始する。  ・文化振興の取組については，高齢化，会員継続が大きな課題。平成２８年度には若年層啓発のため，旭川大学の協力により「旭川学講座」を開催（参加８０名）。また，平成２９年度には５月３１日にカムイミンタラホールコンサート（詩吟，書道，剣舞）。交流センター事業では，ふるさと祭り，文化祭，フェスティバルの３事業がある。 |
| 農家の食卓でエコなお食事会実行委員会  （会長　藤井やよい） | ・「農家の食卓」事業は４年を経過し浸透してきている。  ・本業である農業繁忙期後の活動開始となるが，本年度は８月上旬頃から事業着手予定。食農教育，地産地消を主な内容とする。  ・対象は一般市民の他，学生や親子も視野に入れていく。旭川大学短期大学部の協力も得て，幅広い展開を目指していく。事業数も５～６事業に拡大予定。 |
| 永山食べきり協力店マップ実行委員会  （会長　江口尚文） | ・商店街マップに併せ，食材の使い切り，食べ残しをなくす等に係る取組情報を別冊で作成。  ・無駄をなくす，エコに取り組む地域として啓発，伝えていきたい。  ・平成２９年度は，切り口を変えて，飲食店等のエコな取組について，調査活動を拡大して進めて行きたいと考えている。 |
| 永山地域医療専門家連携実行委員会  （会長　伊藤広也） | ・一疾患に対して包括的な話題提供をしていくスタイルの健康講演会を企図している。  ・４月２３日に骨粗鬆症をテーマに初講演会を開催，盛況であった。次回は１０月２２日に地域協力医を講師に糖尿病をテーマに準備中。また，南西地区から要望があり，１０月２８日に骨粗鬆症のリピート講演を実施予定。  ・当初企画では年３回程度を考えていたが，学会シーズンへの考慮，歩きにくい時期への配慮から，４月，１０月の年２回講演を計画していく。  ・開業医の協力体制構築では，地域の全ての医療機関に趣意説明を行い，医科は７５％（１８機関／２４機関），歯科は８７．５％（２１機関／２４機関）の了解を得ることができた。  ・今後は，薬局，介護分野，看護師や歯科衛生士などの協力も得て，コメディカルな体制強化を図っていきたい。 |
| 永山地域経済活性中長期計画策定検討会  （会長　河田祐也） | ・平成２８年度は本件の進め方の議論を行い，２年目の本年度は地域調査を計画している。  ・永山地域の現在状況は，新しく入ってきた人たちの多い西地域と，もとから永山に住む人たちが多い東地域について，その商業発展に大きな差が生じている。  ・主に永山駅周辺地域の活性が課題である。  ・本取組と地域ニーズにずれがあってはいけないため，産学官金の体制で，東地域に焦点をあてた，住民ニース把握を目的としたアンケート調査の準備を進めている。  ・アンケート調査の予算が未計上，大きな予算ではないが工面が必要である。  ・あさひかわ商工会としては，永山地域の商業振興に関する本取組に旭川大学の大きな協力があることをありがたく感じている。 |
| 永山地域世代間交流事業実行委員会  （会長　工藤博視） | ・平成２８年度から取組を開始している。本年度は市民活動課補助制度「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」不採択を受けて，まち協の支援を得て２年目の取組を進めて行く。  ・高齢者と子ども達の絆づくり，交流促進，引いてはお互いの見守りができる関係性づくり等を企図している。  ・平成２８年度は，第二社会福祉協議会エリア付近に住まいの方々を対象に，顔を見知ってお互いに声かけできる間柄づくりを進めてきたが，平成２９年度は一歩進めて，より広い地域からの参加を得て，広く繋がるというレベルアップを企図していく。  ・年間で４つの事業を企画している。直近では，８月に「七夕まつり・夏まつり」を実施する。 |